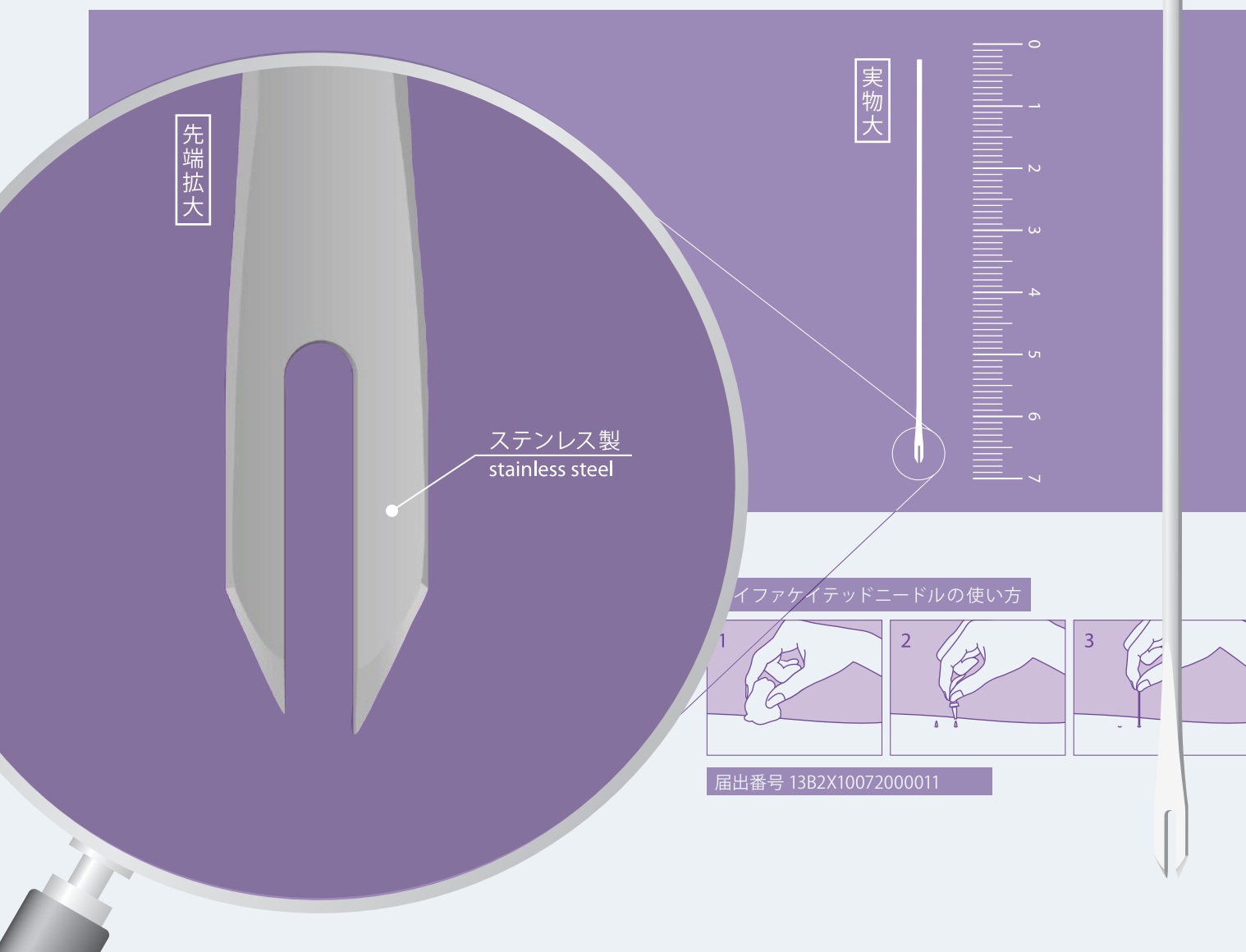


BIFURCATED NEEDLE

バイファケイテッド ニードル

欧米で標準化された皮膚テスト用針

監修：独立行政法人国立病院機構 相模原病院 臨床研究センター 副臨床研究センター長 海老澤元宏先生



製造販売元

株式会社東京エム・アイ商会

〒135-0023 東京都江東区平野3-2-6 TEL:03-6458-5588 FAX:03-6458-5518 info@tokyo-mi.jp

TMI

BIFURCATED NEEDLE

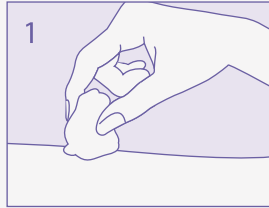
バイファケイテッド ニードル



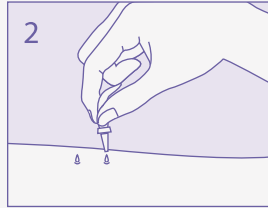
特長

バイファケイテッドニードルは、欧米で標準化された皮膚プリックテスト用の専用針です。従来の自家製プリックテスト針と比べて、痛みが殆どなく、感度・特異性一致率が高く、皮膚プリックテスト(skin prick test=SPT)の診断に大変効果的な針です。

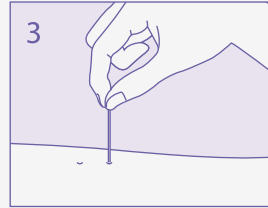
使用方法



① 腕屈側面(あるいは背中)をアルコール綿にて消毒し乾燥させる。



② 抗原液の判別がつくように2cm間隔でマーキングをし、抗原液を1滴ずつ滴下する。



③ 滅菌したバイファケイテッドニードルを、抗原液を通して皮膚に直角に軽く圧迫する。余分な抗原液はガーゼなどで、皮膚面をこすらないように吸い取

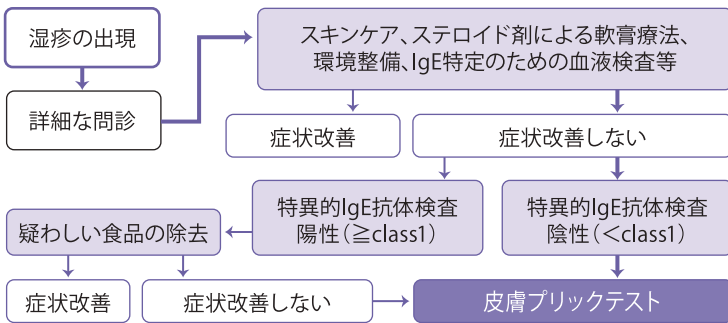


④ 検査方法に従い、15~20分後に判定します。

判定方法

日本人乳児を対象とした、バイファケイテッドニードルを用いた皮膚プリックテストの陽性判定基準として、膨疹径2mm以上かつ、または紅斑径5mm以上が妥当と考えられています。バイファケイテッドニードルでは、陰性コントロールに膨疹がほとんど見られず、判定が容易にできます。

乳児期における食物アレルギーの診断方法



卵白特異的IgE-CAPRAST陰性でのSPTの有用性についての検討

	Egg white allergy		Total
	(+)	(-)	
SPT	(+)*	1	40
	(-)	16	49
Total	72	17	89
Sensitivity	54.2%	PPV	97.5%
Specificity	94.1%	NPV	32.6%

* SPT(+) = wheal size \geq 2mm and/or erythema size \geq 5mm
PPV = Positive predictive value
NPV = Negative predictive value

乳児の中には、初診時卵白IgE-CAPRAST陰性と診断されたにも関わらず、食物アレルギー (food allergy = FA) と診断される症例が存在し、その際の検査方法として、バイファケイテッドニードルでの皮膚プリックテストが有効とされています。また、従来の判定基準に加え、乳児の鶏卵アレルギーに対する判定基準では、膨疹2mm以上かつ、紅斑5mm以上という新しい陽性基準も出ています。新しい陽性基準を用いた判定では、特異度94.1%、感度54.2%という判定結果となり、これまで多く用いられている陽性基準(膨疹3mm以上)では、陽性的中率と特異度は、100%となりましたが、感度が33%と低く偽陰性が多くなるという結果が出ています。乳児アトピー性皮膚炎に關与する鶏卵アレルギーの検索手段として、バイファケイテッドニードルを用いた皮膚プリックテストは、IgE-CAPRASTより優っており先行して施行することで、偽陰性の判定を減少させることができます。

参考文献: 緒方美佳、宿谷明紀、杉崎千鶴子、池松かおり、今井孝成、田知本寛、海老澤元宏、

『乳児アトピー性皮膚炎におけるBifurcated Needleを用いた皮膚プリックテストの食物アレルギーの診断における有用性(第1報) - 鶏卵アレルギー -』アレルギー57(7);2008;843-852.

【使用上の注意】

○バイファケイテッドニードルは、未滅菌です。ご使用の際は必ず滅菌してください。
○製品の特性上、一度使用した本製品の再使用はしないでください。
○皮膚に圧迫する際には、ねじったり、ひっかいたり、または出血させないでください。非特異的反応が強くなり、診断の信頼性が落ちます。

1ケース 50本入 定価¥5,500(税込)

※本カタログの仕様・内容は、改良その他の理由により予告なく変更することがあります。

販売店